

2024-25



JTTRI

Japan Transport and Tourism Research Institute

一般財団法人 運輸総合研究所

Japan Transport and Tourism Research Institute

ミライの運輸・観光は、きっと、もっと面白い。

運輸総合研究所は、交通運輸及び観光に関する
総合的な研究・調査を実施し、
未来への提言を行っています。





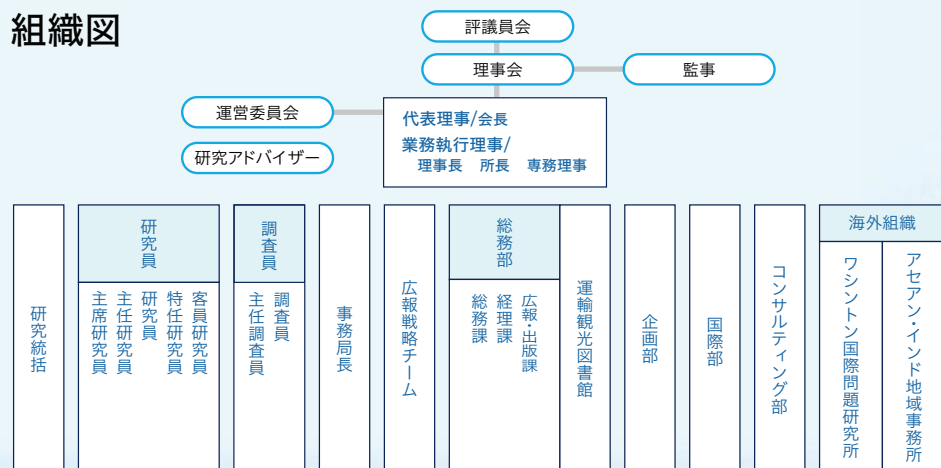
はじめに

運輸総合研究所は、旧運輸省（現国土交通省）のイニシアティブにより、日本の産官学の支援で 1968 年に設立されたシンクタンクで、交通運輸及び観光分野における様々な研究調査活動や政策提言を行っています。「学術研究と実務的要請の橋渡し」という設立の理念に立脚し、現在及び将来の諸課題について、「世の中の役に立つ」、「使いものになる」研究や政策提言、つまり課題解決に資する成果に結実させるべく取り組んでいます。

また、東京の本部と海外拠点である米国・ワシントン DC のワシントン国際問題研究所（JITTI）及びタイ王国・バンコクのアセアン・インド地域事務所（AIRO）とが一体となって、北米から東南アジア・南アジアまでのインド・太平洋地域や欧州を視野に入れた広域的かつ戦略的な活動を行っています。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

組織図





ご挨拶

新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな困難に直面した3年間を乗り越え、我が国の経済・社会活動は徐々に改善を見つつあります。2024 年は、好調な企業収益が、物価上昇を上回る賃上げ、設備投資などの前向きな支出につながり、個人消費が増加していく経済の好循環、デフレからの完全脱却を実現できるか正念場を迎えることになります。

一方、世界は、米中間の緊張、ロシアによるウクライナへの武力侵攻、イスラエル・パレスチナ情勢をはじめ、不安定で不確実な安全保障環境が今後とも続くことが予想され、今や世界は、分断と協調が複雑に絡み合う新たな時代に入っています。このように混迷する世界の厳しい現実が白日の下にさらされる中で、自由や人権、民主主義、法の支配といった普遍的な価値を共有する国家間の多重的な連携の重要性がひととき明らかになりました。

さらに、コロナによる社会経済情勢の変化がもたらした社会・個人の価値観・行動の変容や、加速する労働人口の減少は、交通運輸・観光産業の事業革新、デジタルトランスフォーメーション（DX）の展開、脱炭素化の加速、いわゆる「2024 年問題」への対応などの必要性をより一層際立たせました。

これらの課題に対する取組については、中長期的視点に立ちつつ、国際的な知見を活かし、また、国際的な動向を見極めながら進めていくことが求められています。

以上のような認識の下、当研究所では、より一層皆様との交流・連携を深め、持続可能で活力に満ちた交通運輸・観光の実現に貢献すべく、研究調査、政策提言、セミナー・シンポジウムの開催、コンサルティング等の活動に取り組んでまいります。

また、これらの活動については、当研究所の本部と米国のワシントン国際問題研究所（JITTI）及び 2021 年4月にタイ王国のバンコクに設立したアセアン・インド地域事務所（AIRO）との連携の下、「自由で開かれたインド太平洋」の実現のために交通運輸・観光が果たすべき役割を常に意識して、北米から東南アジア・南アジアに至る地域において、かつ、欧州の動向にも十分配慮しつつ、広域的かつ戦略的に進めてまいります。

当研究所の国際的な活動については、コロナ後の各国・地域の経済・社会情勢を見極めつつ、①観光・文化・学術をはじめとする幅広い分野での国際的な人的交流の充実・拡大、②東南アジア・南アジアにおける質の高い交通インフラの整備・運営や人材育成など、関係各国・地域との連携の強化につながる研究調査やセミナー・シンポジウム等の開催に努めるとともに、日本財団のご支援により実施している「持続的发展基金事業」、「グローバル基金事業」、「海事・海洋基金事業」を有効に活用し、全体として有機的な連携が図られ、最も効果的な事業が実現できるよう取り組んでまいります。

当研究所の役職員・研究員一同、精一杯努力してまいり所存でございます。皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024 年 7 月



一般財団法人 運輸総合研究所
会長 宿利 正史



活動内容

研究調査・政策提言



最近の主な研究テーマ

カーボンニュートラル（CN）

CN 実現に向けた中長期の戦略、特に交通分野の円滑な燃料転換促進をテーマとした研究調査に取り組み、中でも航空・海運における脱炭素化への道筋・課題などの研究成果は、国際民間航空機関（ICAO）や国際海事機関（IMO）の場における議論に活用されています。

< 関連リンク：海運分野における CO2 排出削減に関する研究 >

<https://www.jttri.or.jp/research/port/2020theme05.html>



公共交通・モビリティ

地域の持続的な発展を支える地域交通産業の抜本的・包括的な基盤強化・事業革新の具体的方策、事業制度のあり方等について研究調査に取り組み、2023 年 9 月に提言を発表しました。研究成果は、政府に設置された「地域の公共交通・デザイン実現会議」における議論に活用されています。

< 関連リンク：地域公共交通産業の基盤強化・事業革新に関する調査研究 >

https://www.jttri.or.jp/research/transportation/public-transport_portal.html



航空

航空分野における欧米・日本の政策動向、無人航空機（ドローン）や空飛ぶクルマ等の新技術、空港の機能拡張・強化等に関する研究調査に取り組んでいます。成田国際空港の容量拡大に向けて実施した首都圏空港機能強化検討調査の成果である第三滑走路の新設、年間発着回数 50 万回の構想は、政府及び成田国際空港株式会社のプランとして採用されています。

< 関連リンク：アメリカ航空産業の現状と今後の展望 ～パンデミックの影響からの回復及びその後の課題と展望～ >

https://www.jttri.or.jp/topics/kenkyu_report/2024/0329.html



国際活動の推進

本部とワシントン国際問題研究所及びアセアン・インド地域事務所が一体となって、グローバルな視野に基づき、関係国政府・研究機関等とのハイレベルの交流・連携を図るとともに、関係国等のニーズを踏まえた研究調査・セミナーの開催等の活動を行っています。

ワシントン国際問題研究所

Japan International Transport and Tourism Institute, USA (JITTI)

北米及び欧州等の交通運輸・観光に関する情報収集等を強化するため、1991年にワシントン DC に設立しました。米国の最新動向調査や日本の政策紹介に加え、日米政府要人や有識者を招いたシンポジウムの開催等を通じて、日米両国の官民関係者間の連携の強化、情報共有と相互理解の増進に取り組んでいます。所長以下10名のスタッフで活動しています。

米国公共交通協会 (APTA) ・
スコウテラス会長との連携



アセアン・インド地域事務所

ASEAN-India Regional Office (AIRO)

東南アジア地域・南アジア地域の交通運輸・観光に関する研究調査や情報収集、セミナー・シンポジウムの開催、政府・学界・実務者等への有益な情報発信及び協力関係の構築を目指し、2021年4月にタイ王国バンコクに設立しました。運輸・観光分野で地域のニーズを踏まえた貢献ができるよう、所長以下9名のスタッフで活動しています。

第1回 日タイ観光 WG
(タイ観光スポーツ省と AIRO との共催)



国内外の研究機関との連携

韓国交通研究院 (KOTI) や中華人民共和国国家発展改革委員会総合運輸研究所 (ICT) 等の国内外の研究機関と研究連携や交流を行うとともに、アジア交通学会 (EASTS) や国際交通フォーラム (ITF) 等の国内外の学会等において研究発表や情報発信を行っています。2019年から EASTS 国際大会において公共交通及びモビリティ活動分野における優秀論文を表彰する「運輸総合研究所特別賞 (JTTRI Special Award)」を、2023年から国際航空輸送学会 (ATRS) 世界大会において、持続可能性等をテーマに「運輸総合研究所最優秀論文賞 (JTTRI Best Paper Award)」を授与しています。



海外

韓国交通研究院 (KOTI) ＊
韓国海洋水産開発院 (KMI) ＊
高麗大学校海上法研究センター (KUMLC) ＊
中華人民共和国国家発展改革委員会総合運輸研究所 (ICT)
ベトナム観光開発調査研究所 (ITDR) ＊
ガティ・シャクティ大学 (GSV) ＊
(旧インド国立鉄道交通大学 (NRTI))
ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS ライシャワーセンター＊
米国公共交通協会 (APTA)
アジア交通学会 (EASTS)
世界交通学会 (WCTRS)
国際航空輸送学会 (ATRS)
国際交通フォーラム (ITF)
国際公共交通連合 (UITP)

(＊印の機関とは MOU を締結)

第15回 EASTS
マレーシア大会
(2023年9月)



KMI, KUMLC,
JMC との MOU 締結式
(2024年3月)



国内

東京大学公共政策大学院
交通・観光政策研究ユニット (TTPU) ＊
一般財団法人日本みち研究所＊
一般財団法人みなと総合研究財団＊
国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所＊
公益財団法人日本海事センター (JMC) ＊

公益社団法人土木学会
日本交通学会
一般社団法人計画・交通研究会
航空政策研究会

(＊印の機関とは MOU を締結)

シンポジウム・セミナー等の開催

当研究所の研究調査内容を発表する場として、研究成果や政策提言等について有識者を交えて議論する「シンポジウム」、研究調査の成果を報告発表する「運輸政策コロキウム」・「研究報告会」を開催しているほか、外部講師による講演を中心とする「運輸政策セミナー」、海外の有識者や当事者が直接に講演や対談を行う「JTTRI グローバルセミナー」等を定期的に開催しています。

また、国内のみならず、米国やアジア各地においても、国内外の行政当局者や有識者・事業者を招聘して国際シンポジウム・セミナーを随時開催し、情報発信・交流に努めています。

< 最近開催したシンポジウム・セミナーの例 >

公共交通シンポジウム

2050年 どうする！公共交通

～ 2050年の日本を支える公共交通のあり方とは～

- 2023/6/28 (水) 14:00～17:00
- 東京 ※オンライン配信併用



日米国際航空シンポジウム 2023



～航空サステナビリティの実現に向けた課題と協力～

- 2023/10/5 (木) 15:00～18:15 (米国東部時間)
- 米国ワシントン DC (ロナルドレーガンビル&国際貿易センター) ※オンライン配信併用



(米国運輸省・国務省・エネルギー省との連携・交流)

交通脱炭素セミナー

脱炭素のカギは「水素」

～交通分野の脱炭素化に向けて～

- 2024/3/7 (木) 14:00～17:00
- 東京 ※オンライン配信併用



日越外交関係樹立 50 周年記念認定事業・JTTRI-AIRO 開設記念事業



主要観光地におけるオーバーツーリズムの克服及び地方観光地の活性化

～日本とベトナム両国における持続可能な観光に向けて～

- 2023/10/23 (月) 10:30～13:30 (日本時間)
- ベトナム・ハノイ (ホテルメリアハノイ) ※オンライン配信併用



(ベトナム国家観光局 (VNAT)・ベトナム観光開発調査研究所 (ITDR) との共催)

コンサルティング事業 (調査受託)

国、地方自治体、独立行政法人、民間会社等から公共交通・モビリティ、高速鉄道、都市間・都市鉄道、航空、物流、観光など様々な分野の政策企画立案や計画づくり等のための調査を受託しています。

特に交通計画関連を中心とした調査実績に基づく知見の蓄積や学識経験者とのネットワークを活用し、国際拠点空港等の滑走路新設・増設の計画策定の基礎的検討、東京、大阪などの都市鉄道の新線建設にかかる将来需要予測、事業採算性分析、費用便益分析等による事業免許取得に向けた事業性の検討、補助対象事業となる鉄道施設の事業評価など、実務的なニーズに対応した研究調査に取り組み、社会に貢献しています。

機関誌・書籍の出版

機関誌「運輸政策研究」

1998年に創刊した「運輸政策研究」は、「学術研究と実務的要請の橋渡し」という当研究所の設立理念に基づき、多角的な視点での公正な査読、多様な学識者等で構成する編集委員会における綿密な審議を経て、交通・運輸及び観光分野に関する論文等を掲載しています。



<https://www.jttri.or.jp/journal/>



出版図書

「数字で見る鉄道」「都市・地域交通年報」等、交通運輸・観光に関する書籍の出版・販売を行っています。



機関誌「運輸総研だより」

当研究所の活動の様子や成果を分かりやすい形で皆様にお伝えするために、「運輸総研だより」を2021年12月より、春夏秋冬の年4回発行しています。WEBページからも閲覧可能です。



<https://www.jttri.or.jp/journal/dayori.html>



<https://www.jttri.or.jp/publish/>

運輸観光図書館

「運輸観光図書館」では、交通運輸・観光に関する内外の図書・資料の収集に努めており、2024年3月末現在、図書約3万4千冊、雑誌等約1万7千冊等を保有しています。これらの図書、雑誌及び資料は、広く研究調査活動に活用されているほか、関係官庁の職員、学識経験者、賛助会員等の閲覧及び貸出に供されるとともに、一般にも広く開放しています。

利用時間

午前 10:00～12:00 (昼休み 12:00～13:00)
午後 13:00～17:30
※午前の入館は11:30までに、午後の入館は17:00までにお願いします。

休館日

○土曜日、日曜日、祝祭日 ○創立記念日 : 10月1日
○月末最終日 (休日に当たる時はその前日) ○年度末整理期間: 土日を除く3日間
○年末年始: 12月27日～1月7日

蔵書検索

運輸観光図書館で所蔵している図書雑誌は、WEBページから検索することができます。



運輸観光図書館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番19号 UD 神谷ビル (2F)
TEL 03-5470-8413 FAX 03-5470-8411 E-mail libroom@jttri.or.jp

<https://www.jttri.or.jp/about/outline/inforlib/>



賛助会員

一般財団法人運輸総合研究所の活動趣旨に賛同し、当研究所の活動を支援していただける個人や団体、法人の賛助会員を募集しております。

会費 1口 年間12万円

主な会員特典

- 機関誌、数字で見る鉄道、都市・地域交通年報等の当研究所の定期刊行物の配付
- 当研究所が開催するシンポジウム、セミナー等の録画の先行配信
- 運輸観光図書館の図書の貸出、館内ワークスペースの利用等
- 当研究所の研究員による「出前講演」の提供

<https://www.jttri.or.jp/sanjyo/>





一般財団法人 運輸総合研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番19号UD神谷町ビル
TEL:03-5470-8400 FAX:03-5470-8401

URL : <https://www.jttri.or.jp/>



ワシントン国際問題研究所

Japan International Transport and Tourism Institute, USA
1819 L Street NW, Suite 1000, Washington, D.C. 20036

URL : <https://www.jittiusa.org/>



アセアン・インド地域事務所

ASEAN-India Regional Office
Serm-Mit Tower Unit 1704, 159/27 Sukhumvit 21 Road,
Khlong Toei Nuea, Wattana, Bangkok 10110, Thailand

URL : <https://www.jttri-airo.org/>



最新の活動状況やセミナー等の案内は上記HPでお知らせしているほか、
月2回発行のメールマガジンや、X(旧Twitter)公式アカウントにて
随時お届けしています。ぜひ配信登録／フォローをお願いします。



メールマガジン

https://krs.bz/jterc/m/profile_new



X @jttri_official

https://x.com/JTTRI_official